

ジョイス・イノウエ女史 Joyce Inouye 講演予定トピック

●時間やエネルギーが無い時でも、子どもたちを祝福し続けるために

この分科会では、子どもの障害の有無にかかわらず、どのように子どもを祝福したらいいのかお話しします。ジョイス女史とリチャード氏は神に尋ね求めながら、時間やスケジュールをやり繰りし、混乱や疲れを克服して、3人の子どもたちを誕生以来（長男ギャレットさんは2歳から）18歳になるまで毎日祝福してきました。2014年のチア・コンベンションでは、長女のクリスティンさんが、毎晩どのように両親から祝福を受けてきたかを証しました。現在、長男ギャレットさん&シャノンさん夫妻は、生まれたばかりの娘、ワンダー・レイちゃんに祝福の祈りを始めています。戦場のような毎日の中で、どうしたら祈る気力を保ち続けることができるのでしょうか。ぜひこの分科会で、神が不可能を可能にくださった証をお聞きください。

●学習障害やADHD、自閉症に関連する感覚処理障害、前庭疾患、固有感覚障害、運動障害とは？

ADHD、前庭疾患、固有感覚障害、自閉症、学習障害（ディスレクシア、計算力障害、微細運動技能）に関する2017年8月の最新研究についてお伝えしながら、これらの知識がホームスクーリングの学習面にどのような影響を与えるか、お話しします。

●障害のある子どもたちと信仰的な会話、弟子訓練はできるか

親も子も様々なチャレンジに直面しますが、神の国の視点から見ることによって、そのすべてに答えを見つけることができます。神は「若者をその行く道にふさわしく教育せよ……」（箴言22:6）とおっしゃいました。この分科会では、「障害のある子どもとは信仰的な会話や弟子訓練ができない」という不信仰な考え方を払しょくしていきます。学習障害を抱え、じっと座ってられず、集中力が途切れやすい、あるいは興味が無いように見える子どもたちに、ホームスクーリングをする中でどのように神について語っていくのかお話しします。

●不安障害と、ADHDや自閉症、学習障害との関連性を認識し、ホームスクーリングを通して癒しをもたらす方法

「アメリカ不安・うつ協会」が2017年5月に発表したところによると、ADHDの成人患者のうち約50%が不安障害を抱えています。アメリカのADHD ナショナル・リソース・センターの推定では、ADHDの子どものうち30%が不安を覚える経験をしています。この分科会では、共存症（同時に2つ以上の疾患を有している状態）に関する情報をお伝えしながら、その症状の見分け方や、不安症状を癒すホームスクーリングの方法、逆に不安を高めてしまうホームスクーリングの進め方についてもお話しします。

●ADHD、学習障害の最新の研究結果を、ホームスクーリングに生かす方法

箴言11:14で神は次のように言われました。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る」。この分科会では、ADHDや学習障害、高機能自閉症に関する最新調査を分かち合い、どのような年間計画を立てればいいのか、また子どもを助けるために親が知っておくべきこと、さらに調査結果をどのようにホームスクーリングに生かしていくかをお話しします。お子さんに障害が無い場合でも、そのような方々を助けるミニストリーに携わるように、神さまは皆さんを招いておられるかもしれません。イエスさまの愛をもって彼らを助けていくために、今回の講演内容を知っておくことは益となるでしょう。この分科会で、皆さんの人生を変える重要な情報を得てください。

●イノウエ夫妻によるワークショップ

「子どもを祝福するとは」（金曜午後・予定）

夫妻に実演も踏まえて学びます。90分のセッション中、10分ずつ6セッション、祝福の祈りの時間を持ちます。そこで、祝福の祈りを受けたい方々を募集します。祝福の祈りは聖書的であり、他の方々を励ますものです。夫婦でご参加の方は、ぜひご夫妻で祝福を受けるよう勧めます。申込書は、チアの事務局そばにおきます。これは初めての試みです。参加される方は、祝福の祈りをどうぞ録音してください。アメリカではよく祝福の祈りを録音します。祈りがその時だけでなく、後で聞いて励ましとなるためにです。祝福の祈りはイエスキリストにある希望を思い起こさせます。夫妻が分科会の最後に、祝福の祈りの祈り方などをお伝えします。